

ヒロシマ 反核平和の終焉

II

～9条盲従平和主義で日本は守れるか!?!～

軍事力で膨張する中国、米国の委縮、国益だけの欧州、クリミア併合・・・、世界は再び「力による支配と利益獲得」の舞台へ。「平和を愛する諸国民の公正と信義」は何処に？ 迫り来る危機に、わが国はいかにして国民の平和と安全を守ればよいのか？



講師 井上和彦氏 軍事ジャーナリスト

「話合い」だけが最終兵器の平和論はもういらぬ。いま本当に聞きたいリアルな安全保障の話!!



講師 田母神俊雄氏
8.6広島平和ミーティング顧問
第29代航空幕僚長

2014 8.6 [水]
(平成26年)

18:00～20:20 (開場 17:00)

リーガロイヤルホテル広島
4F ロイヤルホール (広島市中区基町6-78)

チケット 前売 1,800円 当日 2,300円
学生 1,000円 (事務局へお申込み下さい)

【チケット販売所】

- エディオン広島本店 本館8Fプレイガイド
 - チケットぴあ Pコード 626-582
店舗/アルパーク天満屋、廣文館 金座街本店
福屋広島駅前店ほか
 - 全国のサークルKサンクス
 - 全国のセブンイレブン
- ※発券手数料105円が必要です

メール・FAXでも受付中(7月25日まで)
氏名、枚数、郵送先、電話番号を送信ください。
メール 86@jp-pride.com
FAX 082-831-6206

■ボランティアスタッフ募集

この講演会はみなさんの支援で成功します!
(支援金受付・ポスター掲示協力、メッセージなど)
TEL082-831-6205まで

【予定】
インターネット中継を
日本各地で!!

沖縄・長崎・大阪・東京 他

詳細はHPでご確認ください。



「ヒロシマ反核平和の終焉」とは、戦後一貫して、国や広島が発信してきた核廃絶・平和教育などの“平和論”が北の核恫喝で無効化されたため、現実に即した安全保障議論を望む願いを込めたものです。

主催 日本会議広島・「日本の誇りセミナー」実行委員会 広島市安佐南区川内4-11-18 TEL082-831-6205

協力 平和と安全を求める被爆者たちの会 <http://realpas.com>

協賛 長崎原爆展示を正す会、新聞アイデンティティ、平成・美しい日本を護る会、日本ウイグル協会、my日本、頑張れ日本!全国行動委員会、(株)日本時事評論社、MASUKI情報デスク、全日本学生文化会議、日本再生の会

日本会議広島

検索

憲法盲従平和主義のもたらすもの

夥しい数の人々を無差別に殺害した原爆投下から69年が経ちました。あの悲惨な状況に晒された私達は、日本国憲法で「恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚して、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼」すれば私達の「生存と安全」が保持できるのだ、と高らかに宣言しました。学校では、武器を置き、戦いを放棄すれば平和が約束されるのだと教わってきました。しかし「専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から除去しようと努めている」はずだった国際社会は、その本当の姿を露わにしてきました。北朝鮮の核兵器は高度化して日本を射程に入れるミサイルが日本海に飛来しました。中国は太平洋の覇権を米国と分割する提案をしました。南シナ海ではフィリピンを始めとする周辺諸国に露骨な圧迫を加えて身勝手な領海拡張をしています。尖閣諸島では毎日のように領海侵犯を繰り返しています。南スーダンでは難民の殺害が続いています。シリアでは政府軍が多数の反政府派を殺害しています。彼らは身を守る武器を求めています。イランはホルムズ海峡封鎖の恫喝を使って、自国有利に核開発を進めています。そしてウクライナでは謎の武装部隊がウクライナ軍を制圧してクリミア半島がロシアに奪われました。東部州でも国を分断する動きがあります。国連安保理の大国が関与しているので遠方からの「話し合いを望む声」だけでは、この違法行為を阻止できません。武器を置いたクリミアは領土が奪われました。武器の無い

シリアや南スーダンでは命が奪われました。尖閣諸島では海保の力は限界に近づいています。戦いを放棄すれば尖閣は奪われ、さらなる侵攻を招きます。現に中国は、南西諸島や沖縄諸島までも日本領土ではないと主張し始めました。竹島は依然として武力で不法占拠されたままです。

今の私達はウクライナと同じ危険に晒されてはいないでしょうか。“地上における支配権の変更”が人類の歴史だったからこそ、不当な変更には力を合わせて阻止・回復することが絶対に必要でした。力なくして安全無く、安全無くして平和はありません。憲法文言の皮相しか見えない人達は、「他国と力を合わせて協力すること、断固として不法と戦うこと、戦う手段を持つこと」のすべてを排除せよ、と主張します。このような「憲法盲従平和主義」がどういう結果をもたらすかは既に明らかです。

憲法を通して世界を見るのではなく、世界の現実から憲法を見ることだけが正しい態度です。スイスでは、国民は「猫なで声で最も崇高な感情に訴える“平和主義”に警戒せよ!」「われわれは、受け身に立って逃げ回る権利など与えられていない。あらゆる事態の発生に対して準備せざるを得ないのが、最も単純な現実なのである」と教えられています。私達が目を覚ます時、それは今でしょう。

平成26(2014)年5月3日

『平和と安全を求める被爆者たちの会』

早朝慰霊祭

今年も早朝慰霊祭を執り行います。

平成26年8月6日(水)
朝5時45分～(15分程度)
原爆慰霊碑前にて

主催 平和と安全を求める被爆者たちの会
参加お問い合わせは **TEL(082)831-6205**

サポーター登録

趣旨に賛同されるみなさんのサポーター登録をお願いしています。

会の趣旨など詳しくはホームページをご覧ください。 <http://realpas.com>



もうひとつの平和宣言

「もうひとつの平和宣言」を発表しています。

平和と安全を求める被爆者たちの会では、平成22年より、広島市長が行う平和宣言とは別に、私たちの思いを込めた、「もうひとつの平和宣言」を発表し、各方面から高い評価・感想を頂いています。ホームページにてご一読ください。

<http://realpas.com>